

幸田町立南部中学校 感想

・障がいをもっていてもみんな助け合って補っているということが分かりました。私もこれからたくさんの人と接していく中でお互いに助け合って生活していきたいと思いました。

・自閉症の人と関わっていくことがあったら具体的に説明して工夫して行動していきたいと思いました。

・見え方、聴こえ方、感じ方とかが少しちがうだけであとは、あまり私たちとちがうところはないんだと思いました。

・私もこれから自閉症の方が一つのこと集中してがんばることのように好きなことに集中して生活していきたいです。

・自分でどうしたら相手に伝わるのか、どう工夫するかを考えて行動に移すことが大切であることを知りました。

・大切な命だから共に生きていきたいです。

・1 つのこと集中して好きになったものをとことん頑張れる。というのが本当にすごいなと思います。

・発達障がいの方はすべての事を全力で行っていて、それでもうまくいかないときに、絵やジェスチャーを使ってコミュニケーションをとったり、相手に伝えたりして、助け合いながら生活することが大切だと思いました。

・助け合いながら生活していきたいです。

・話す以外にもコミュニケーションをとる方法があるのでこれからいろんな人とコミュニケーションをとっていきます。

・一緒にいろんなことを楽しくしようと改めて思いました。

・これからは自閉症の人がいたら困っているとき声をかけて助けてあげたいです。

・私たちが分るように動けばしっかり伝わりコミュニケーションをとることだって出来るのでできないじゃなくてどうしたら出来るかを考えていこうと思いました。

・自閉症の人に会ったら、何か自分に出来る手助けなどをしていこうと思いました。

・これから人との関わり方を考えていきたいです。

・個性があって私たちと同じなんだと思いました。

・疑似体験では、気持ちがよく伝わりました。

・実際に体験をしてみて、自分は一生懸命やっているのになんでできないんだろうともどかしい気持ちになりました。

・みんなそれぞれちがう、ちがっていいことをもう一度思い出すことができました。

・これからも人のことを思いやっけていき仲間を大切にしていきたいです。

・折り紙体験で思うようにできなかったことを頭に入れて生活していきたいです。

・障がいは「病気」ではなく「個性」だということがよくわかりました。

・障がいがあってもなくても、平等であるということがわかりました。

・ただ「自閉症」といっても | 人 | 人違っていて、その人の「個性」だとわたしは思います。

・体験してみると折り紙では普段ならすぐに完成できるけれど、軍手をするだけで上手に折り紙が開けなかったり、きれいに重ねることが出来なかったりして、全く進みませんでした。

- ・機会があれば、絵カードやジェスチャーを使って楽しく会話していきたいです。
- ・いろいろな感じ方や聞き方を私も、一緒にその場で感じたいなと思います。
- ・障がいのあるお子さんをこれまで育ててきたお母さんたちはいろいろな工夫をして大事に育ててきたからこそ今の社会があり、今のお子さんがあるんだなと気づくことができました。
- ・自分に困難なことがあったとしてもがんばってあきらめなければ、やれることを今日あらためて知ることができました。
- ・その人にあった方法で工夫して生活していることがわかりました。
- ・接し方など相手に合わせた工夫をしていっていい関係になれたらなと思います。そして周りの人たちにも気づかいはできるようにしたいです。
- ・発達障がいには色々な子がいることを改めて知りました。
- ・できなくても工夫したり何度も努力しているんだと思いました。
- ・自閉症の方と関わる機会があれば、できないときめつけないで応援したいとおもいました。
- ・軍手をはめて折り紙を折ったときに、全然うまく折ることができなくて少しイライラだったり、

モヤモヤしたりと思い通りにやることができないとこんなに辛くて大変なんだなと思いました。

・具体的に言ってあげるだけでも気持ちが軽くなるのだと思いました。

・障がい者の人でも楽しく仕事などもやってしっかりとした生活をおくっているんだなと思いました。

・声をかけて少しでもいいので話すことができるようになりたいと思います。

・写真やジェスチャーを使ってわかりやすくしていきたいと思いました。

・同じように話せなかったり、体を動かすのが苦手だったり耳が聞こえなくても、考えてコミュニケーションをとっていることにはとても感動しました。

・その人のことを分かってあげたりして互いを尊重できるようにしたいです。

・具体的に言うともっとよく伝わったりすることなどもあるので、自分も試していきたいです。

・人によって見え方や感じ方、聞こえ方がちがうと言われて他の人がどんなふうに見えたりしているかが気になりました。

- ・相手のことも大切にしないといけないと思いました。
- ・やさしく接して生活する上での手助けをすることが大切だと思いました。
- ・楽しくみんなと同じように接し時には工夫も生かしていきたいです。
- ・人との関わりを大切にしたいと思います。
- ・音がいっぺんにきこえる人のためにイヤーマフというものもあってすごいと思いました。
- ・疑似体験ををすることでとてもわかりやすく実感することができました。
- ・障がいを持っている人にもちゃんと気持ちがあって、それを上手く思った通りにできないだけなのだとおもいました。
- ・初めの頃はどうすれば良いのか分からない、でもその後からのコミュニケーションの取り方の工夫を知ってそこまでたどりつくまでのたくさんの苦勞を感じました。
- ・1人ではなくたくさんの方々の助けがあって障がいの壁を越えてコミュニケーションが取れるようになったのだと思いました。